

他とは違う効き方です!!

稲



ニカメイチュウ



コブノメイガ



イネツトムシ



イネドロオイムシ



イネミスソウムシ

野菜・果樹



マメハモグリバエ



コナガ



アオムシ



アブラムシ類



ミナミキイロアザミウマ



ミカンキイロアザミウマ



チャノホソガ



フタテンヒメヨコバイ



ナモグリバエ



チャノミドリヒメヨコバイ



チャノキイロアザミウマ



非結球レタス・さやいんげん
はつかだいこんに適用拡大!!

適用作物

稲、キャベツ、はくさい、だいこん、ブロッコリー、
ほうれんそう、レタス、非結球レタス、かき、くり、びわ、
ぶどう、キウイフルーツ、茶、とうもろこし、ばれいしょ等



園芸用殺虫剤

パトン[®] SG水溶剤

パダン® SG水溶剤

農林水産省登録 第18950号

- 有効成分：カルタップ……… 75.0%
- 性 状：青緑色水溶性細粒

医薬用外劇物

- ①使用前にはラベルをよく読んでください。
- ②ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ③本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ	1500倍	21日前	本剤:6回 カルタップ:6回(#1)	散布
	イネハモグリバエ イネシンガレセンチュウ	1500~ 3000倍	浸種前	本剤:1回 カルタップ:6回(#1)	
キャベツ はくさい	コナガ アオムシ アブラムシ類	1500倍	14日前	4回	散布
だいこん	ダイコンシンクイムシ	1000倍	7日前	3回	
なばな	コナガ アブラムシ類	1500倍	前日		4回
さやえんどう 実えんどう	ウラナミシジミ ナモグリバエ	1500~ 3000倍			
ブロッコリー ほうれんそう レタス 非結球レタス	コナガ ミナミキイロアザミウマ ナメクジ類 ナモグリバエ	1500倍	7日前	4回 2回	散布
かき	チャノキイロアザミウマ カキホソガ イラガ カキノキマダラメイガ		1500~ 3000倍	14日前	
	カキノヘタムシガ	45日前		4回	
くり	モモノゴマダラノメイガ ネスジキノカワガ	1500倍	裂果前	3回	散布
びわ	ナシヒメシンクイ		春芽伸長 初期まで 但し、90日前	4回	
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500倍	21日前	5回	散布
キウイフルーツ	キイロマイコガ キウイヒメヨコバイ		30日前	3回	
茶	チャノホソガ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000倍	摘採10日前	1回	散布
とうもろこし 飼料用とうもろこし はとむぎ	アワノメイガ		21日前	2回	
ばれいしょ ホップ	ジャガイモガ若齢幼虫 フキノメイガ	1500倍	7日前	6回 3回	散布
しょうが	フキノメイガ アワノメイガ			5回	
ガーベラ	マメハモグリバエ	1500倍	発生初期	4回	散布
シクラメン	ミカンキイロアザミウマ		3回		
いぐさ	イグサシンムシガ アザミウマ類 アブラムシ類 フキノメイガ	300倍	7日前	2回	30分間 種いも浸漬
ふき	ネグサレセンチュウ		植付前	1回	
くわい	ハスモンヨトウ	1500倍	30日前	3回	散布
さやいんげん はつかだいこん	マメハモグリバエ コナガ		前日 7日前		

パダンの効き方



多くの殺虫剤で効きにくくなった害虫にも効果があります。

安全使用上の注意



- ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合してください。
- ペースト肥料と混和して側条施用する場合は次の注意を守ってください。
 - ①同一の害虫を防除対象とする育苗箱施用薬剤と併用すると薬害発生のおそれがあるので、さけてください。
 - ②使用した機械を洗浄する際は、洗浄水が水路等に流入しないよう注意してください。
 - ③アルカリ性ペースト肥料との混和は有効成分が分解するおそれがあるので、混和可能が確認されているペースト肥料以外の混和はさけてください。
- イネシンガレセンチュウ防除のため種もみ消毒をする場合、催芽前に処理してください。稲の品種や殺菌剤との混用によっては、発芽抑制が生じる場合があるので、農業技術者の指導を受けて使用してください。
- あぶらな科野菜に使用する場合は、夏期高温時の苗や軟弱な苗に対して薬害を生ずるおそれがあるのでさけてください。
- かきに使用する場合は、果実の着色直前以降は薬害を生ずるおそれがあるので使用しないでください。
- かき、ぶどうには樹勢の弱い場合には薬害を生ずるおそれがあるので使用しないでください。
- ほうれんそうに使用する場合は、高温時の散布は薬害を生ずるおそれがあるので、さけてください。
- ガーベラには品種（パープルレイン、マンボなど）によっては薬害を生ずるおそれがあるのであらかじめ薬害のないことを確かめたうえで使用してください。
- キウイフルーツに使用する場合は、新葉に薬害（黄変）が生ずることがあるので注意してください。
- シクラメンに使用する場合は、あらかじめシクラメンに散布してみても薬害が出ないことを確かめたうえで使用してください。
- ミナミキイロアザミウマの防除に使用する場合は、生育密度が高まると効果が劣るので、初発生を見たら直ちに散布してください。なお、ミナミキイロアザミウマは繁殖が早いので、散布はかけ残しのないよういねいに行ってください。
- びわのナシヒメシンクイの防除に当たっては、新梢、収穫跡、芽かき跡、剪定跡等に食入した幼虫を対象に散布してください。
- なす、たばこには薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意してください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれがある場所では使用をさけてください。

ペースト肥料と混和して側条施用する場合

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	イネドロオイムシ	100~200g /10a	移植時	本剤:1回 カルタップ:6回(#1)	ペースト肥料に 溶かし、側条 施肥田植機で 施用する
	イネミズゾウムシ コブノメイガ ニカメイチュウ	200g /10a			

#1: 種もみ浸漬は1回以内、床土への混和及び育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内。
*: 収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。